

令和3年度 第1回逗子市福祉プラン懇話会 概要

日時 2021年（令和3年）7月2日（金）

午前10時から正午まで

場所 市庁舎5階 第1・2会議室

1. 開会

2. 議題

（1）各個別計画における進捗状況等について

各個別計画の推進・改善に向けた意見・提案

《逗子市地域福祉計画・地域福祉活動計画》

・個別計画の懇話会では、逗子市避難行動要支援者に対する意見が多かった。地域への関心が高い方が多い。コロナ禍で福祉だけでなく防災なども話し合う必要がある。縦割りの考え方では対応できない。専門職だけの支援では追いつかないのではないかと。

《逗子市健康増進計画》

・特定健診、がん検診の受診率が下がっているが、初期に判明していれば助かったのに手遅れの状態になるのではないかとというのが課題である。
・総合病院については市長より断念したという話であったが、是非とも実現させたい。

《逗子市高齢者保健福祉計画》

・地域共生係ができて体制の整備はできた。縦割りでなく実行する必要がある。
・コロナ禍でDVDやWeb等を利用していることは評価できるが、高齢者には浸透していないと思われるので、検討しなくてはならない。
・高齢者には前期と後期がある。前期は65歳から74歳、後期は75歳以上。団塊世代は後期が増えそうである。（高齢者の指標は、65歳以上で、要介護を認定していない方）

《逗子市障がい者福祉計画》

・目に見えない障がいがある人たちは、災害時の避難をどうするか等、自分たちから発信しないと理解してもらえない。
・駅の近く等行きやすい所に、子どもたちが相談しやすい場所があるとよい。

《逗子市子ども・子育て支援事業計画》

・実績数値の増減に対して、質の変化、内容はどうなのか、増減の原因は何か、少数意見をできるだけ取り込んで検証してほしい。

アドバイザーからの総評

・コロナ禍での努力については良い評価が出ている。アドバイザーとして求められるのは、抽象的にこんな視点でというものだと思う。行政からの評価は量的なものなので、懇話会メンバーには、ABCの数量での評価ではなく、質的な評価を具体的にあげてもらうことでバランスが取れると考えている。

《逗子市地域福祉計画・地域福祉活動計画》

・公は行政、私は自助、みんなで支えあう共助が出来なかった。人と人とのつながりの格差ができています。ものすごく恩恵を受けている人と全然受けていない人がいる。求める側と支援する側が見えてこない。こういう人にこそ支援が必要という視点が必要と考える。

《逗子市健康増進計画》

・代替手段を進めているが代替手段の妥当性が分からない。どういう手段があるのか、候補をあげてその中から選択するというようにすれば分かるのではないかと。それが見えないと本当の評価できない。

《逗子市高齢者保健福祉計画》

・高齢者は包括ケアを中心としたもの。地域福祉計画の地域福祉と包括支援体制との関係がわからない。包括ケアから漏れるものがたくさんあることを考えていかなければいけない。交通政策はまちづくりの連携とっているが、病院は県が、包括は市が、エリアもバラバラといった中で果たしてできるのか。介護予防と地域づくり、各々の連携と調整が必要である。

《逗子市障がい者福祉計画》

・コロナ禍で社会的排除といった新たな問題が出てきている。障がい者が外国人、収入の減った高齢者など。大きな視点から今後の計画の方向性を考える必要がある。

《逗子市子ども・子育て支援事業計画》

・コロナ禍を契機として見直す時期である。テレワークで家にいる時間が長くなり、DV、虐待といった家族・子育てでの問題が出てくると予想される。コロナでも感染症対策を前提としてやらなければならないものがある。例えば図書館を閉館するとしても、ネット検索できるのであれば郵送することも可能である。実際に図書館に行っても人はほとんどいない。コロナで準備不十分だったということもあるので、コロナが収束してから問題提起を行っていかなくてはならない。

基幹計画進行管理表について

・それぞれ5つの計画の評価は、すべてB評価であり、福祉プランとしての評価はBとなった。

(2) その他

・次期逗子市福祉プラン、逗子市地域福祉計画・逗子市地域福祉活動計画（2023年度～2030年度）の策定について

・次回懇話会（議題：地域住民等へのアンケート調査）は2021年8月末に開催予定

3. 閉会

以 上